

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	国語	学年	I	担当	
使用教科書	国語(光村図書)		副教材	よくわかる国語の学習I(明治図書) 最新国語資料集(明治図書)	

【教科の目標】

- (1)社会生活に必要な国語について,その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め,思考力や想像力を養う。
- (3)言葉がもつ価値を認識するとともに,言語感覚を豊かにし,我が国の言語文化に関わり,国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
I 学期	4	<input type="checkbox"/> 朝のリレー <input type="checkbox"/> 野原はうたう	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業のルールの確認をする。 ● 情景や心情を想像しながら音読する。 ● 情景や心情が伝わるような音読の仕方を工夫する。
	5	<input type="checkbox"/> シンジュン <input type="checkbox"/> 情報を的確に聞き取る <input type="checkbox"/> 情報を整理して書こう <input type="checkbox"/> 漢字の組み立てと部首 <input type="checkbox"/> ダイコンは大きな根	<ul style="list-style-type: none"> ● 場面の展開に沿って,二人の関係の変化を整理する。 ● 効果的なメモの取り方を確かめる。 ● 情報を集め,整理する,構成を考える。 ● 部首の種類について理解する。 ● 文章の中心的な部分を捉える。 ● 文章の構成に着目し,その効果を考える。
	6	<input type="checkbox"/> ちょっと立ち止まって <input type="checkbox"/> 話の構成を工夫しよう <input type="checkbox"/> 文法への扉I	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見と根拠の結び付きを考える。 ● スピーチの会を開く。 ● 練習問題に取り組む。 ● 言葉のまとまりについて考える。
	7・8	<input type="checkbox"/> 詩の世界 <input type="checkbox"/> 比喩で広がる言葉の世界 <input type="checkbox"/> 指示する語句と接続する語句	<ul style="list-style-type: none"> ● 詩のよさを発表する。 ● 言葉について考える。 ● 学習したことを日常につなぐ。
	9	<input type="checkbox"/> 大人になれなかった弟たちに <input type="checkbox"/> 星の花が降るころに <input type="checkbox"/> 聞き上手になろう	<ul style="list-style-type: none"> ● 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 ● 場面や描写を結び付けて読む。 ● 案内する事柄と相手を決め,情報を整理する。
	10	<input type="checkbox"/> 方言と共通語 <input type="checkbox"/> 漢字の音訓	<ul style="list-style-type: none"> ● 方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について理解する。 ● 「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。

2 学 期	10	<input type="checkbox"/> 「言葉」を持つ鳥, シジウカラ <input type="checkbox"/> 根拠を示して説明しよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 論の展開に着目し, その効果を考える。 ● 原因と結果を抜き出し, 整理する。 ● 図表などを引用してレポートを作成する。
	11	<input type="checkbox"/> 話題や展開を捉えて話し合おう <input type="checkbox"/> 竹取物語 <input type="checkbox"/> 今に生きる言葉 <input type="checkbox"/> 「不便」の価値を見つけ直す	<ul style="list-style-type: none"> ● 気持ちが伝わるように, 声に出して読む。司会と書記を決め, グループで話し合う。 ● 古典の文章について, 現代の文章との違いを確かめる。 ● 筆者の考えを要約する。
	12	<input type="checkbox"/> 助言を自分の文章に生かそう <input type="checkbox"/> 文法への扉2	<ul style="list-style-type: none"> ● どの観点から論じるかを決め, 書評を書く。 ● 「文節どうしの関係」を理解する。
	1	<input type="checkbox"/> 少年の日の思い出 <input type="checkbox"/> 随筆二編	<ul style="list-style-type: none"> ● 作品の展開を捉える。 ● 随筆を書く。
	2	<input type="checkbox"/> 文法への扉3 <input type="checkbox"/> 構成や描写を工夫して書こう <input type="checkbox"/> さまざまな表現技法	<ul style="list-style-type: none"> ● 単語の性質について考える。 ● 語句や表現の工夫に着目する。 ● 表現技法によるリズムの違いや効果について考える。
	3	<input type="checkbox"/> 漢字の成り立ち <input type="checkbox"/> 一年間の学びを振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ● 漢字の成り立ちについて理解する。 ● 観点を決め, 一年間の学習を振り返る。 ● 作者の思いについて語り合う。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	◎	◎
提出物の内容, 振り返りシート	○	◎	◎
定期考査	◎	◎	—
作文	○	◎	○
漢字テスト	○	—	○

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 教科書の音読や語句の意味調べを行きましょう。
- 教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。
- 漢字テストに向け, 繰り返し練習に取り組みましょう。

授業

- 課題や話し合いに集中して取り組み, 言葉に対する理解を深めましょう。
- 自分の考えをいろいろな人と交流して, 視野を広げましょう。
- 話を聞いてメモを取る習慣を付けましょう。
- 根拠を示して答えられるようにしましょう。

復習

- ノートやプリントの整理を通して, 授業を振り返りましょう。
- ワークブックに繰り返し取り組み, 問題に慣れましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	社会	学年	I	担当	
使用教科書	中学生の地理(帝国書院) 中学生の歴史(帝国書院) 中学校社会科地図(帝国書院)		副教材		社会の自主学習 歴史・地理(新学社) 学び考える歴史(浜島書店) アクティブ地理(浜島書店)

【教科の目標】

- (1) 我が国の国土と歴史, 現代の政治, 経済, 国際関係等に関して理解するとともに, 調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義, 特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり, 社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力, 思考・判断したことを説明したり, それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について, よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに, 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情, 国民主権を担う公民として, 自国を愛し, その平和と繁栄を図ることや, 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
I 学期	4	<input type="checkbox"/> 【歴史】歴史の流れと時代区分 <input type="checkbox"/> 【歴史】歴史の調べ方・まとめ・発表の仕方 <input type="checkbox"/> 【歴史】人類の登場から文明の発生へ	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校までの学習を振り返り, 中学校での学習についての意欲を高める。 ● 年代の表し方や時代区分についての基本を理解する。 ● 身近な地域の歴史を調べる学習を通して, 地域のなかで受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め, 歴史の調べ方やまとめ・発表の仕方を身に付ける。 ● 諸文明には, 生活技術の発達, 文字の使用, 国家のおこりと発展などの共通する特色があることに気づく。
	5	<input type="checkbox"/> 【地理】世界の姿 <input type="checkbox"/> 【地理】日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図や時差から日本の位置を捉え, 日本の領域や特色, 都道府県と県庁所在地について理解する。 ● 地球儀や地図を活用し, 地域区分や地域構成を捉える。
	6	<input type="checkbox"/> 【歴史】東アジアの中の倭(日本) <input type="checkbox"/> 【歴史】中国にならった国家づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● ヤマト王権の国内の統一について大きく捉え, 大陸から移住してきた人々の日本の社会に果たした役割に気付く。 ● 大陸の文物や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられ, 律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。

	7・8	<input type="checkbox"/> 【地理】世界各地の人々の生活と環境	● 世界各地の人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。
	9	<input type="checkbox"/> 【地理】世界の諸地域 ① アジア州 <input type="checkbox"/> ヨーロッパ州	● 各州に暮らす人々の生活の様子から、それぞれの州の地域的特色を理解する。
	10	<input type="checkbox"/> 【歴史】展開する天皇・貴族の政治	● 天皇や貴族の政治の展開を、摂関政治などを通して理解する。また、文化の国風化が進んだことを理解する。
2 学期	10	<input type="checkbox"/> 【地理】世界の諸地域 ② アフリカ州	● 各州に暮らす人々の生活の様子から、それぞれの州の地域的特色を理解する。
	11	<input type="checkbox"/> 北アメリカ州 <input type="checkbox"/> 南アメリカ州	● 各州に暮らす人々の生活の様子から、それぞれの州の地域的特色を理解する。
	12	<input type="checkbox"/> 【歴史】武士の世の始まり <input type="checkbox"/> 【歴史】武家政権の内と外	● 武士が台頭し、古代から中世へ転換した様子を、古代の天皇や貴族の政治との違いに着目して考察する。 ● 元寇、日明貿易、琉球の国際的な役割などから、東アジア世界との密接な関わりや、日本に及ぼした影響に気付く。
	1	<input type="checkbox"/> 【歴史】人々の結びつきが強まる社会	● 諸産業の発達や自治的な仕組みの成立が、社会の大きな変化であることに着目し、人々の生活が向上したこと、商品流通が活性化したことに気付く。
	2	<input type="checkbox"/> 【地理】世界の諸地域 ③ オセアニア州 <input type="checkbox"/> 【歴史】大航海によって結びつく世界	● 各州に暮らす人々の生活の様子から、それぞれの州の地域的特色を理解する。 ● 鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易が盛んになり、それらが日本の社会に影響を及ぼしたことを理解する。
3	<input type="checkbox"/> 【歴史】戦乱から全国統一へ	● 織田信長や豊臣秀吉が行った政策によって、中世までとは異なる社会が生まれた大きな変化に気付く。	

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	○	◎
提出物の内容, 振り返りシートからの読み取り	○	○	◎
定期考査	◎	◎	—
授業でのプリント	○	○	○

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 授業であつかった語句の意味を確認しましょう。
- 教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。
- 前回の授業を振り返りましょう。

授業

- 授業に集中して取り組み, 理解を深めましょう。
- 自分の考えをいろいろな人と交流して, 様々な見方考え方に気付き, 視野を広げましょう。
- 話を聞いてメモを取る習慣をつけましょう。
- 根拠や資料を示して答えられるようにしましょう。

復習

- ノートやプリントの整理を通して, 授業を振り返りましょう。
- ワークに繰り返し取り組み, 問題演習をしましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	数学	学年	I	担当	
使用教科書	新しい数学(東京書籍)		副教材	よくわかる数学の学習I(明治図書)	

【教科の目標】

- (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

【年間指導計画】

学期		単元と題材	学習活動	
1 学期	4	0章 算数から数学へ	● 1節 整数の性質	
		5	1章 数の世界をひろげよう [正負の数]	● 1節 正負の数
	● 2節 加法と減法 ● 3節 乗法と除法 ● 4節 正負の数の利用 ● 章の問題 A・B			
	6	2章 数学のことは身につけよう [文字と式]	● 文字を使った式 ● 文字式の計算 ● 文字式の利用 ● 章の問題 A・B	
	7		3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式]	● 方程式とその解き方 ● 1次方程式の利用 ● 章の問題 A・B
	8 9			● 関数と比例・反比例 ● 比例の性質と調べ方 ● 反比例の性質と調べ方 ● 比例と反比例の利用 ● 章の問題 A・B
	10	4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例]	● 関数と比例・反比例 ● 比例の性質と調べ方 ● 反比例の性質と調べ方 ● 比例と反比例の利用 ● 章の問題 A・B	
2 学期	11	5章 平面図形の見方をひろげよう [平面図形]	● 〈とびら〉 どうやって作ったのかな? ● 図形の移動 ● p.158 数学のまど★他教科関連(技術・家庭) ● 基本の作図 ● おうぎ形 ● 章の問題 A・B	
	12		6章 立体の見方をひろげよう [空間図形]	● いろいろな立体 ● 立体の見方と調べ方 ● 立体の体積と表面積 ● 章の問題 A・B
	I			

学期		単元と題材	学習活動
	2	7章 データを活用して判断しよう [データの分析と活用]	<ul style="list-style-type: none"> ● データの整理と分析 ● データの活用 ● ことからの起こりやすさ ● 章の問題 A・B
	3	<input type="checkbox"/> 予備時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題演習 ● 発展学習

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	○	◎
提出物の <u>内容</u> , <u>振り返りシートからの読み取り</u>	○	○	◎
定期考査	◎	◎	—
評価テスト	○	○	○
レポート	○	◎	◎

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 持ち物は筆記用具(赤ペン, 定規は必ず持ってきましょう), 教科書, ノート, ワーク, ワークの解答集です。
- 宿題を確実にやったかを, 級友と確認をしましょう。
- 教科書の例題などで, 解き方の流れを見るなどの予習をしましょう。

授業

- 先生の話をよく聞きましょう。特に例題の解き方などは, ポイントをノートにメモしながら聞きましょう。
- 問題を解くときには, 途中の計算課程や, その数式が表しているものを説明する言葉も書きましょう。間違えたときも, 答えだけではなく, 途中式も写しましょう。
- ペア学習やグループ学習のときには, なるべくわかりやすく解き方を説明できるようにしましょう。そのためには, 今まで学習した用語を使えるようにしましょう。説明をすることで, 理解力が深まります。

復習

- 数学の学習で大事なものは, 問題を解いて答え合わせをしたときに, なぜ間違えたのかを理解することです。間違えた問題には必ず印を付けておき, 数日後にもう一度解きましょう。
- 計算の練習は毎日短時間行いましょう。計算が得意な人は, 時間を計りながら「早く, 正確に」解いてみましょう。
- 計画的に復習をしましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	理科	学年	I	担当	
使用教科書	新しい科学(東京書籍)		副教材	よくわかる理科の学習(明治図書)	

【教科の目標】

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め,科学的に探究するために必要な観察,実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察,実験などを行い,科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり,科学的に探究しようとする態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4	単元1 いろいろな生物とその共通点 □ 1章 生物の観察と分類の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ● ルーペや顕微鏡を使った観察を行い,観察の操作,記録などの技能を身に付ける。 ● 生物を分類するための観点を理解する。
	5	□ 2章 植物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ● 植物の観察を行う ● 植物の共通点や相違点に基づいて分類することができることを理解する。
	6	□ 3章 動物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な動物の観察を行う。 ● 動物の共通点や相違点に基づいて分類することができることを理解する。
	7・8	単元2 身の回りの物質 □ 1章 身の回りの物質とその性	<ul style="list-style-type: none"> ● 身の回りの物質の観察,実験などの技能を身に付ける。 ● 有機物や無機物の違いや金属や非金属の違いを理解する。
	9	□ 2章 気体の性質	<ul style="list-style-type: none"> ● 気体を発生する実験を行う。 ● 気体の特性と捕集方法を理解する。
	10	□ 3章 水溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ● 水溶液に関する実験を行う。 ● 溶解度,質量パーセント濃度について理解する。
2 学期	10	□ 4章 物質の姿と状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ● 状態変化についての観察,実験を行う。 ● 状態変化による質量,体積の変化を粒子モデルと関連付けて理解する。
	11	単元3 身のまわりの現象 □ 1章 光の性質 □ 2章 音の世界	<ul style="list-style-type: none"> ● 光の反射,屈折,凸レンズの実験を行う。 ● 反射,屈折の規則性を見出し理解する。 ● 凸レンズによる像の作り方を理解する。 ● 音についての実験を行う。

		● 音はものが振動して生じていることを理解する。
12	□ 3章 力の世界	● 物体に力を働かせる実験を行う。 ● 様々な力の作用について理解する。 ● 2力がつり合う条件について理解する。
1	単元4 大地の変化 □ 1章 火をふく大地	● 火山の形,活動の様子をマグマの性質と関連付けて理解する。 ● 火成岩の観察を行い,それらの組織の違いを成因と関連付けて理解する。
2	□ 2章 動き続ける大地	● 体験や記録をもとに,揺れの伝わり方の規則性に気付き,理解する。 ● 地震の原因をプレートの動きと関連付けて理解する。 ● 津波が発生する仕組みを理解する。
3	□ 3章 地層から読みとる大地の変化	● 地層や岩石の観察を行う。 ● 地層の重なり方や広がり方の規則性について理解する。 ● 化石から過去の環境と地質年代を推定できることを理解する。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業・実験での様子(発表・対話の様子)	◎	○	◎
定期考査,小テスト	◎	◎	—
実験プリント	◎	◎	—
ワーク(よくわかる理科の学習)	—	—	◎
変容見取りシート(Before&After)	—	○	◎

【学習アドバイス】

学習前の準備

- ノートやワーク「よくわかる理科の学習」で前時の復習をしましょう。
- 教科書を読み,本時の授業の内容について予習をしましょう。

授業

- 各節ごとに自分の課題を設定し,課題解決に向けて自分の考えを深めましょう。
- 知識や技能,表現力を高めるために,学び方を工夫して粘り強く取り組みましょう。
- いろいろな人と交流し,自分の考えを伝え,他者の考えを聞くことで科学的思考力を高めましょう。
- 授業や実験の目標を理解し,根拠を示して説明・表現できるようにしましょう。

復習

- 自宅でノートやプリントの整理を通して,自分で設定した課題に対する理解を深めましょう。
- 自宅でワーク「よくわかる理科の学習」に繰り返し取り組み,知識や技能について理解を深めましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	英語	学年	I	担当	
使用教科書	NEW HORIZON I (東京書籍)			副教材	「英語のパートナー」 (正進社)

【教科の目標】

- (1) 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどを理解するとともに, これらの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり, これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動 できるようになること(目標)
1 学 期	4	<input type="checkbox"/> Unit 0 Welcome to Junior High School	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で学習してきた内容を復習する ・ 英語の発音を覚え, 発音できる ・ アルファベットを英語の発音で読むことができる ・ 新出語句を自力で読んだり書いたりする技術を身に付ける
	5	<input type="checkbox"/> Unit 1 New School, New Friend	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介をして, 質問を受ける簡単なやりとりができる
	6	<input type="checkbox"/> Unit 2 Our New Teacher	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がふだんすることや, できることを伝えることができる ・ 身近な人やものについて紹介したり, たずねたりできる
	7	<input type="checkbox"/> Unit 3 Club Activities	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつ, どこなのかをたずねたり, 数をたずねたりできる ・ 学習したことを用いてインタビューに答えることができる
2 学 期	8	<input type="checkbox"/> Unit 4 Friends in New Zealand	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に指示したり, 時刻や好きなものをたずねたりできる
	9	<input type="checkbox"/> Unit 5 A Japanese Summer Festival	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行った場所や, 楽しんだことなどについて話すことができる
	9	<input type="checkbox"/> Stage Activity 1 “All about Me” Poster	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の好きなことについて, つながりのある文章を書くことができる
	10	<input type="checkbox"/> Unit 6 A Speech about My Brother	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と相手以外の人やものなどについて, たずねたり伝えたりできる
		<input type="checkbox"/> Let's Talk 1 お願い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人に許可を求めたり, 依頼したりできる
		<input type="checkbox"/> Unit 7 Foreign Artists in Japan	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と相手以外の人について話したり, どちらなのか, だれのものかをたずねたりすることができる
		・ Let's Talk 2	

11	<input type="checkbox"/> Unit 8 A Surprise Party	今していることについて説明したり, たずねたりできる したいことや, する必要のあることなどについて説明したり, たずねたりできる
12	<input type="checkbox"/> Unit 9 Think Globally, Act Locally	
1	<input type="checkbox"/> Let's Talk 3 道案内 <input type="checkbox"/> Stage Activity 2 My Hero <input type="checkbox"/> Let's Read 1 <input type="checkbox"/> Unit 10 Winter Vacation	徒歩での道順をたずねたり, 教えたりできる ・ 有名人についてたずねたり, 説明したりできる 図や表などの情報を参考に, 書き手の考えを読み取ることが できる ・ 過去の出来事について説明したり, たずねたりできる
2	<input type="checkbox"/> Unit 11 This Year's Memories	
3	<input type="checkbox"/> Let's Talk 4 レストラン <input type="checkbox"/> Stage Activity 3 My Favorite Event This Year <input type="checkbox"/> Let's Read 2 City Lights	

【評価の方法】

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主体的に学習に 取り組む様子	授業課題に取り組む様子	○	○	◎
	提出課題に取り組む様子	—	—	◎
学習を調整する力(自己評価)		—	—	◎
定期考査 (筆記試験)		◎	◎	—
単元テスト(筆記試験)		◎	◎	—
パフォーマンステスト		○	◎	○

【学習のアドバイス】 授業の中で随時お話ししていきます。困ったときはいつでも相談してください。

学習前の準備

- 教科書の語句の意味調べを行い, 次に学習するところの語句は読めて意味が言えるようにしておきましょう。
- 学習するところの目標(何について学習するのか)を確認しましょう。

授業

- 課題や話し合いに集中して取り組み, 理解を深めましょう。
- 自分の考えをいろいろな人と交流して, 視野を広げましょう。
- 英語の発話は失敗を恐れず, 間違いは気にしないでよいので, まず言ってみましょう。

復習

- ノートやプリントの整理をしながら授業を振り返り, その日に学んだ英語を声に出しましょう。
- ワークなどに取り組み, 問題に慣れましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	音楽	学年	I	担当	
使用教科書	音楽の教科書 I 器楽の教科書(教育芸術社)		副教材	パノラマワイド版「表現と鑑賞の資料」 (正進社)	

【教科の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
I 学期	4	<input type="checkbox"/> オリエンテーション <input type="checkbox"/> 校歌 <input type="checkbox"/> 歌唱「合唱コンクール自由曲」	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書の巻頭ページなどから音楽についての考えを深め、学習内容を知りI年間の学習の見通しをもつ。 ● 校歌の歌詞を知り、味わいながら歌うことで、中田中生としての自覚を高める。 ● 10曲の中から、自分のクラスの校内合唱コンクール自由曲を選曲し、本番に向けてパート分けやリーダーを決め、音とりに取り組む。
	5	<input type="checkbox"/> リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ <input type="checkbox"/> 歌唱「合唱コンクール 自由曲」	<ul style="list-style-type: none"> ● 音符の仕組みを確認し、オリジナルのリズム奏を創作する。また、クラッピングによりリズム感を養う。 ● 歌詞の意味を知り、その歌詞にあった発音、発声など、歌い方について学びながら歌う。
	6	<input type="checkbox"/> 歌唱「合唱コンクール自由曲」	<ul style="list-style-type: none"> ● その歌詞にあった発音、発声方法などを取得し、旋律の重なり、曲の構成に注意しながら自分たちの表現を工夫して歌う。
	7・ 8	<input type="checkbox"/> 歌唱「合唱コンクール自由曲」 <input type="checkbox"/> 映画音楽	<ul style="list-style-type: none"> ● その歌詞にあった発音、発声方法などを取得し、旋律の重なり、曲の構成に注意しながら自分たちの表現を工夫して歌う。 ● 音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに注目しながら聴き、イメージがもたらす音楽の力を探る。
	9	<input type="checkbox"/> 歌曲「魔王」 <input type="checkbox"/> 日本の歌「浜辺の歌」	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴く。 ● 情景を思い浮かべながら表情豊かに歌う。

2 学 期	10	<input type="checkbox"/> 日本の歌「赤とんぼ」	● 情景を思い浮かべながら想いを込めて歌う。
	10	<input type="checkbox"/> 鑑賞「アジアの諸民族の音楽」 <input type="checkbox"/> 器楽「箏」	● 楽器や声の音色、旋律の特徴などに気を付けて、それぞれの良さ、美しさを味わって聴く。
	11	<input type="checkbox"/> 器楽「箏」	● 「箏」に関する知識、技能を得たり生かしたりして表現を工夫して演奏する。
	12	<input type="checkbox"/> 器楽「箏」	● 和楽器が持つ魅力に関心を持ち、音色を味わって演奏する。
	1	<input type="checkbox"/> 器楽「箏」 <input type="checkbox"/> 鑑賞曲「六段の調べ」	● 「箏」に関する知識、技能を得たり生かしたりして表現を工夫して演奏する。 ● 音色、旋律の特徴、速度の変化などに気を付けながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴く。
	2	<input type="checkbox"/> 鑑賞曲「越天楽」 <input type="checkbox"/> 鑑賞「四季より～春」	● 楽器の音色や旋律の特徴などに気をつけながら雅楽のよさや美しさを味わって聴く。 ● 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴く。
3	<input type="checkbox"/> 鑑賞「四季より～春」	● 合奏と独奏の対比や、曲の構成に気を付けながら聴く。	

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発言, パート練習等の様子)	—	◎	◎
筆記小テスト	◎	—	◎
作品(創作)	◎	◎	—
合唱の楽譜への書き込み(指導されたこと, 自分なりのポイント等を書き込んでいるか)	—	○	◎
鑑賞のワークシート	○	◎	○
チェックシート(日々の振り返り) (授業の目標に沿って学んだこと, 考えたこと等, 考えを深めているか)	○	○	◎

【学習アドバイス】

- 週に一、二度しか授業がありませんので、毎時間を大切に、集中して取り組みましょう。
- 忘れ物をしないようにしましょう。
- 日頃から美しいもの、ことに触れ、思いを言葉で表現することを意識し、表現力、感受性を豊かにしていきましょう。
- 音楽を聴いて感じたことや考えたことを、自分の言葉で表現しましょう。また、周りの人の意見を参考に、その楽曲についてより理解を深めましょう。
- 音楽の基礎知識、技能を学習し、表現活動に生かしていきましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	美術	学年	I	担当	
使用教科書	美術(日本文教出版)		副教材	美術資料(秀学社)	

【教科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4 5	<input type="checkbox"/> オリエンテーション (鑑賞・絵画)	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書の内容を確認しながら、美術の学習内容を理解し、図画工作からの変容や、3年間の流れを学ぶことで、これからの学習への見通しと目標を持つ。 ● 鑑賞や表現描画の基礎の演習をし、1年間の授業の準備をする
	5 6 7	<input type="checkbox"/> 感じとったことをスケッチに 「見つめると見えてくるもの」 (絵画)	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な物を観察し、愛着ある思いを深めそこから主題を捉える。 ● 描画の種類や物の見方や方、形や質感の表現技術を学び、表現の基礎を身に付ける。 ● 鉛筆の特性を生かし、意図に応じて工夫し表現する。
	8	<input type="checkbox"/> 探して、感じて、語り合っ て「絵の中をよく見ると」(鑑賞)	<ul style="list-style-type: none"> ● 作家の作品制作の過程や捉え方を鑑賞を通して学び、絵画の考え方や表現を学ぶ。
	9 10		
	10 11	<input type="checkbox"/> 文字っておもしろい ～自分の名前のデザイン～ (デザイン)	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字の歴史やレタリングの方法を学び文字の基礎を学ぶ。 ● 考えや思いが伝わる「文字」の美しさや効果に関心を持ち、表現する。 ● レタリングの基本書体や特徴を理解し、描くことができる力を付ける。
2 学期	12	<input type="checkbox"/> のびのびと描いて 「墨と水の出会い」(絵画)	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の文化に根付いてきた墨という表現画材の技法について学び、その表現の幅広さや多様な表現方法を理解し作品で表現する

12	<input type="checkbox"/> 特徴をとらえて構成する 「広がる模様の世界」 ～平面構成～（デザイン）	<ul style="list-style-type: none"> ● 色彩についての基礎・基本を学ぶ ● 絵の具の使い方や用具の基礎を学び、着彩の彩色の表現方法の基本を身に付ける。 ● 自然の形や色彩の特徴を学び、構成の仕方を工夫しデザイン表現する。
	<input type="checkbox"/> 紙で美しい装飾をつくる 「折って、切って、巻いて」 （工芸・立体造形・鑑賞）	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙という素材の特徴や良さ、折ったり、切ったりする活動の中から生まれる表現技法の幅の広さを学ぶ。 ● 立体造形としての「折り紙」の基礎的な表現を学び、表現できるようにする。 ● 立体造形としての折り紙の歴史や技法について学び、日本の伝統文化の理解や表現の仕方を学ぶ。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子（発表・対話・制作等の様子）	○	○	◎
振り返りシートからの <u>読み取り</u>	○	○	◎
作品	◎	◎	—
提出物の内容（ワークシート・アイデア・演習プリント・感想プリント）	◎	◎	◎
鑑賞のワークシート	○	○	○

【学習アドバイス】

- 週に一、二度しか授業がありませんので、毎時間を大切に、集中して取り組みましょう。
- 授業の約束事を守るように心がけましょう。
- 普段の生活の中で、自分が美しい、素敵と思うものや出来事に触れ、感じる“感覚”を意識し、表現力、感受性を豊かにしていきましょう。
- “見る”＝鑑賞も大切な学習になるので、美術館や展覧会など、本物に触れる見る機会があったら是非積極的に鑑賞しましょう。
- 感じたことを言葉でも表現することも意識しましょう。
- 授業の課題や作品は、きちんと提出しましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	保健体育	学年	I	担当	
使用教科書	新しい保健体育(東京書籍)	副教材	学習ノート・ビジュアル(東京書籍)		

【教科の目標】

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
1 学期	4	<input type="checkbox"/> 集団行動 <input type="checkbox"/> 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題をもって体の調子を整えるなどの体ほぐし運動を行い、体力を高める。
	5	<input type="checkbox"/> 体力テスト	
	6・7	<input type="checkbox"/> 球技 バレーボール <input type="checkbox"/> 器械運動 マット運動	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人的技能を高め、ルールを理解してゲームを行う。また、チームで話し合い、作戦を立てる。 ● 自己に適した技を選び、技ができるようにすると共に、それらを組み合わせ、流れるように演技を行うことができるようにする。
	7・8	<input type="checkbox"/> 水泳 クロール・平泳ぎ <input type="checkbox"/> 器械運動 跳び箱運動	<ul style="list-style-type: none"> ● クロール・平泳ぎの正しいフォームを身に付ける。 ● 安全面に注意して器具を使用し、自己に適した技を選び、技がより良くできるように技能を高める。
	9・10	<input type="checkbox"/> 陸上競技 短距離走・リレー、ハードル走 <input type="checkbox"/> 運動会練習 <input type="checkbox"/> 健康な生活と疾病の予防①	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録の向上を目指して、仲間と協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 ● 健康の成り立ちや疾病の発生要因、運動・食生活・休養や睡眠と健康との関係について学ぶ。
2 学期	11・12	<input type="checkbox"/> 武道 柔道 <input type="checkbox"/> 陸上競技 長距離走	<ul style="list-style-type: none"> ● 礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と固め技を身に付け、自己の技能に応じた練習を行う。 ● 記録の向上を目指して、自己の体力に応じた練習を行う。
	1・2	<input type="checkbox"/> 球技 サッカー バスケットボール <input type="checkbox"/> 心身の機能の発達と心の健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力して練習やゲームを行い、自分やチームの課題を明らかにする。 ● シュート・パス・ドリブルなどの基本的な技能を身に付け、ゲームで発揮できるようにする。 ● 年齢に伴う身体機能の発達や、知的機能や情意機能の発達について学ぶ。
	2・3	<input type="checkbox"/> ダンス 現代的なリズムのダンス	<ul style="list-style-type: none"> ● グループで簡単な作品を発表し合い、仲間と共に踊る楽しさを味わう。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	○	○	◎
提出物の <u>内容</u> 、 <u>振り返りシートからの読み取り</u>	○	○	◎
定期考査(期末考査)	◎	◎	—
技能テスト	◎	○	—

【学習アドバイス】

- 忘れ物をせず、正しい服装で授業に出席しましょう。
- 得意不得意にかかわらず、毎時間の授業に積極的に取り組み、できることを増やしましょう。
- ペアやグループで積極的に意見を出し合い、記録や技能の向上を目指しましょう。
- 【体育】競技規則や技能のポイントをビジュアルで確認しましょう。
- 【保健】教科書やノートの問題を解いて復習をしましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	技術・家庭 (技術分野)	学年	I	担当	
使用教科書	技術(開隆堂)		副教材	技術のワーク(明治図書)	

【教科の目標】

- (1) 生活や社会で利用されている材料,加工,生物育成,エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに,それらに係る技能を身に付け,技術と生活や社会,環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し,解決策を構想し,製作図等に表現し,試作等を通じて具体化し,実践を評価・改善するなど,課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて,適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
I 学期	4	<input type="checkbox"/> ガイダンス <input type="checkbox"/> 材料を利用するための技術(木材)	<ul style="list-style-type: none"> ● 身の回りにある製品に使われる材料の種類を知る。 ● 木材の特徴を理解する。
	5	<input type="checkbox"/> 材料を利用するための技術(金属・プラスチック・製図)	<ul style="list-style-type: none"> ● 身の回りにある製品に使われる材料の種類を知る。 ● 金属・プラスチック材料の特徴を理解する。 ● 製作したいものを図に表す方法を知る。
	6	<input type="checkbox"/> 問題解決の手順 <input type="checkbox"/> 問題の発見・課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決の手順を知る。 ● 自身の生活の中の問題を考える。 ● 問題を木材によって解決するための課題を考える。
	7・8	<input type="checkbox"/> 木材加工(けがき)	<ul style="list-style-type: none"> ● 材料取り図や部品表をもとに材料にけがきを行う。 ● さしがねの使い方を知る。
	9	<input type="checkbox"/> 木材加工(切削・接合)	<ul style="list-style-type: none"> ● 切削に必要な工具の使い方を知る。 ● けがきをもとに切削作業を行う。
	10	<input type="checkbox"/> 木材加工(仕上げ)	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕上げの方法を知る。 ● 下地づくりや面取りを行う。
2 学期	10	<input type="checkbox"/> これからの材料の加工の技術	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの学習を振り返り,これからの材料加工の技術について調べ学習を行う。
	11	<input type="checkbox"/> 情報セキュリティ <input type="checkbox"/> 情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報セキュリティについて知り,自身の身の守り方を知る。 ● 情報モラルについて知り,たどしいSNSの使い方について考える。

	12	<input type="checkbox"/> 知的財産の保護 <input type="checkbox"/> 生活や社会と情報の技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産の保護について知り、著作物の扱いについて正しく判断ができるようになる。 ● 生活や社会で活躍する情報の技術について考える。
	1	<input type="checkbox"/> 情報とコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータの基礎的な知識について学習する。 ● コンピュータを自動で動かすしくじについて知る。 ● プログラムについて学習し、簡単なプログラミングを行う。
	2	<input type="checkbox"/> 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会で利用されるチャットアプリの問題点について考える。 ● 問題を解決するための課題を設定し、プログラミングを行う。
	3	<input type="checkbox"/> 双方向性のあるコンテンツによる問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題を解決するための課題を設定し、プログラミングを行う。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	—	○	◎
振り返りシート, ワークシートからの <u>読み取り</u>	—	○	◎
定期考査	○	○	—
提出物の <u>内容</u> , 作品	◎	◎	—

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 前時までで使用していたワークシートを見直し前時の復習をしましょう。
- 教科書を読み, 本時の授業の内容や使用する工具について予習をしましょう。

授業

- 自分の課題を設定し, 課題解決に向けて自分の考えを深めましょう。
- 知識や技能, 表現力を高めるために, 学び方を工夫して粘り強く取り組みましょう。
- 身の回りの当たり前前に疑問や, 課題を設定できる技術的な見方・考え方を高めましょう。
- 授業の目標を理解し, 学んだ内容を生活に生かすことができるようにしましょう。

復習

- 自宅でワークシートの整理を通して, 自分で設定した課題に対しての理解を深めましょう。
- 自宅でワーク繰り返し取り組み, 知識や技能について理解を深めましょう。
- 動画資料等を活用し, 授業で使用した工具の使い方について理解を深めましょう。

令和6年度 年間指導・評価計画

教科	技術・家庭 (家庭分野)	学年	I	担当	
使用教科書	技術・家庭科 家庭分野(開隆堂)		副教材	技術・家庭科 家庭分野(明治図書)	

【教科の目標】

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】

	月	単元と題材	学習活動
I 学期	4	<input type="checkbox"/> ガイダンス <input type="checkbox"/> 今の自分とこれまで <input type="checkbox"/> わたしの生活と家族・家庭 <input type="checkbox"/> 家庭を支える社会 <input type="checkbox"/> 中学生にとっての家族	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立と共生について考える。 ● 小学校での学習を思い出し、家庭の働きと、それを支える活動について考える。 ● 中学生のいる世帯の1日の生活時間のデータから、家庭の機能を支える家庭の仕事を誰が担っているかに気づき、自分ができていることを考える。
	5	<input type="checkbox"/> 衣服で伝わるメッセージ <input type="checkbox"/> 自分らしくコーディネート <input type="checkbox"/> つなげよう和服の文化 <input type="checkbox"/> 上手な衣服の選択 <input type="checkbox"/> まかせて衣服の手入れ <input type="checkbox"/> 布の繊維に応じた手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ● TPOを設定し、ワークシートに適した衣服のデザイン画を記入する。 ● 自分の似合う色を見つける実験・調査をする。 ● ゆかたを通して、和服の特徴を知る。 ● 調べた衣服の表示とその意味を確認する。 ● 洗濯で縮んだセーターを見て、なぜそうなったか考え、衣服の素材や状態に応じた手入れができる。
	6 7・8	<input type="checkbox"/> めぎそう洗濯名人 <input type="checkbox"/> 補修や収納・保管 <input type="checkbox"/> 布による作品で生活を演出 <input type="checkbox"/> 製作の基礎・基本 ◆ChromeBookケース製作	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗剤のはたらきの動画を視聴するなど科学的な理解を深め、衣服の素材に応じた洗濯が適切にできる。 ● 服に合わせた方法のアイロンかけや収納・保管を適切に行うことについて、自分の考えをまとめる。
	9	<input type="checkbox"/> 生活の課題と実践 <input type="checkbox"/> 持続可能な衣生活をめざして <input type="checkbox"/> 住まいのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにするための物を製作する。持続可能な衣生活を目指して、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。 ● 住まいの役割や基本的な機能について考え、各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気付く。

2 学 期	10	<input type="checkbox"/> 住まいの空間 <input type="checkbox"/> 家庭内事故への備え <input type="checkbox"/> 災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢別による家庭内事故の特徴を知り、安全に住むための対策を考える。 ● 「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。
	11	<input type="checkbox"/> 持続可能な住生活をめざして <input type="checkbox"/> 消費生活のしくみ <input type="checkbox"/> 家庭生活における収入と支出 <input type="checkbox"/> いろいろな購入方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。 ● 自分の生活をふり返り、消費生活の考えを深める。 ● 自分にとっての計画的な金銭管理を考え、まとめる。 ● 店舗販売と無店舗販売（通信販売）の長所と短所について話し合い、発表する。
	12	<input type="checkbox"/> 購入前に知っておくこと <input type="checkbox"/> いろいろな支払い方法 <input type="checkbox"/> 情報を活用した上手な購入	<ul style="list-style-type: none"> ● 契約の意味やルールをワークシートにまとめる。 ● 三者間取引の仕組みや、キャッシュレス化の影響について理解する。 ● 商品を購入するときは、情報を集めて、選択することを考える。
	1	<input type="checkbox"/> なくなる消費者被害 <input type="checkbox"/> 消費者を支えるもの <input type="checkbox"/> 消費者の権利と責任 <input type="checkbox"/> 消費行動が社会に与える影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書や地域の消費生活センターの資料から中学生に多いトラブルの内容を知り、自分の経験を発表する ● 消費者の8つの権利と5つの責任を身近な事例等を通して理解する。
	2 3	<input type="checkbox"/> 消費行動が環境に与える影響 <input type="checkbox"/> 世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分たちができるエシカル消費について考える。 ● SDGsの特に12の目標における自分の取り組み方について考える。

【評価の方法】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業での様子(発表・対話の様子)	◎	◎	◎
振り返りシートからの <u>読み取り</u>	—	○	◎
ワークシート・レポート(<u>提出物の内容</u>)	—	○	○
定期考査	◎	○	—
作品	◎	◎	—

【学習アドバイス】

学習前の準備

- 前時のワークシートを見直し、前時の学習内容と自分の生活について考えましょう。
- 教科書に載っている単元の目標を確認しましょう。

授業

- 学習内容への興味や関心、疑問を大切に、表現してみましょう。
- 自分の考えをいろいろな人と交流して、視野を広げましょう。
- 授業内で学んだことを、自分の生活にどのように生かしていけるのか考えてみましょう。

復習

- ワークやプリントの整理を通して、授業を振り返りましょう。
- より豊かな生活にするために、学んだことをどのように生活に生かしていけるのか、持続可能な社会に向けて行動できるのか考え、実践していきましょう。